学校運営協議会（定時制部会）議事録

校名	大阪府立和泉総合高等学校
准校長名	山﨑　健

開催日時	令和　8年　6月　26日（金）　18　：　00　～　20　：　00
開催場所	エンパワメントルーム
出席者(委員)	久保会長、北村副会長、臼井委員、大橋委員、玉置委員
出席者(学校)	准校長、教頭、主査、首席兼教務主任、生徒指導部主事、総務部長 進路指導主事、保健主事
傍聴者	なし
協議資料	・大阪府立和泉総合高等学校　定時制の課程　学校運営協議会　実施要項 ・令和8年度学校経営計画及び令和7年度学校評価 ・令和7年度　総括 ・令和8年度　学校状況 ・令和8年度　行事予定表
備考	

議題等(次第順)

①令和8年度学校経営計画及び令和7年度学校評価について
②令和7年度総括及び令和8年度学校状況について

協議内容・承認事項等（意見の概要）

①について
・高校は生徒の個人端末はどうなっているのか。
　→府からの貸与。
・キャリア教育での外部連携はどのようなものか。
　→教育関係の民間企業で、来校してもらって出前授業等をしてもらっている。
・「基礎学力の充実」は大切だが、「学ぶ意欲」を高めるのと両立は難しいのでは。
　→基本的には基礎学力を大切にしているが、学ぶ意欲を高めるために今年度は系列改編を実現し、生徒のニーズに合った教育課程を作っているところ。
・「あいさつ運動」とは。
　→先生方に毎日始業前に正門に立って生徒への声かけを実施してもらっている。
・「同僚性の向上」について取り組みは。
　→年1回実施しているストレスチェックでこの項目が低かった。各教科一人か二人しかいないのも要因の一つかもしれない。具体的な取り組みについては検討中。
・かつて定時制教員は職務専念義務の免除の自主研修制度が魅力であったが、近年はどのような研修を行っているのか。
　→職免の自主研修をしている教員はいない。
・安全衛生委員会は毎月開催しているのか。内容は。
　→50人未満の職場なので月1回の開催義務はないが、概ね毎月ペースで開催している。時間外在校時間の報告や職員等のハラスメントの相談窓口。
・SSWの配置はかなり後退した。教育庁は状況をわかっているのか。もっと拡充するべき。
→定時制通信制の校長会でも要望はあげている。

次回の会議日程

日時	令和8年10月30日（金）18:00～
会場	エンパワメントルーム

学校運営協議会（定時制部会）議事録

校名	大阪府立和泉総合高等学校
准校長名	山﨑　健

開催日時	令和　8年　10月　30日（金）　18　：　00　～　20　：　00
開催場所	エンパワメントルーム
出席者(委員)	久保会長、北村副会長、臼井委員、玉置委員
出席者(学校)	准校長、教頭、主査、首席兼教務主任、生徒指導部主事、進路指導主事 保健主事、総務部長
傍聴者	なし
協議資料	・第１回学校運営協議会の記録 ・令和８年度の進捗状況 ・授業アンケート結果
備考	

議題等(次第順)

・本年度の学校の状況、取り組みについて
・魅力ある学校づくりについて
・その他

協議内容・承認事項等（意見の概要）

・第１回議事録について。自主研修を「受けている」ではなく、「行っている」という表記にしてもらいたい。
・退学者のその後の進路の状況は。
　→一人は音信不通により不明。もう一人は仕事のため。
・原級留置の要因は何か。
　→いずれも欠課時数過多のため単位未修得によるもの。
・遠足の出席率が学年によってかなりばらつきがあるが、何か理由でもあるのか。
　→行き先に関係しているわけではないと思われるが、学年によって行事参加率に隔たりがある。
・進路について、大学など進学を希望している者はどの程度いるのか。大学も定員割れをしているので、学びたい気持ちがある人には進むことが出来るように支援して欲しい。
　→現時点では少ないが勧めていく。希望者には別途必要な指導を行う。
・宮城県でのボランティア活動の概要は。
　→教育庁を通して文部科学省の事業に応募して当選したもの。10月の3連休に生徒2名と引率1名で行ってきた。復興イベントのボランティアスタッフとして活動したり、石巻専修大学の学生と「防災かるた」をするなどして交流した。

次回の会議日程

日時	令和9年1月29日（金）18:00～
会場	エンパワメントルーム